

1.1 クリソタイル標準試料

Jawe 111

(1) クリソタイル標準試料 Jawe 111

試料名 Jawe 111 のクリソタイル標準試料は、X 線回折分析用標準として調整したものである。

分析対象は、主として作業環境中の浮遊粉じんおよびアスベストを含む原料・材料・建材・製品などで、環気中のアスベスト濃度あるいは原材料などに含まれるアスベストの含有率の分析に用いられる。

(2) 産地と試料調整法

米国カリフォルニア州サンベニト郡南東およびフレスノ郡西方に分布するニューアイドリア蛇紋岩体中には、高品位の短纖維クリソタイルが胚胎している¹⁾。Union Carbide 社が同地域に鉱山を所有し、種々のグレードのクリソタイル原綿を生産している。Jawe 111 は、Union Carbide 社の Standard Grade 100 シリーズの 1 製品をそのまま用い、特別な試料調整は行っていない。したがつて、鉱山での粉碎過程を経て解綿された状態のままのものである。Standard Grade 100 シリーズは、Canadian 7 R と同等品で、ビニールダイルやアスファルト床タイル用として使用されていたものである。

(3) X 線粉末回折分析データ

Jawe 111 は、短纖維クリソタイルであるためそのまま X 線回折分析用試料支持板につめることができる。また、水に分散したり空気中に飛散させてメンブランフィルターで吸引ろ過捕集するのにも適している。X 線粉末回折図形を図 1 に示し

た。測定条件は、表 1 のとおりである。夾雑物として、ブルーサイト (brucite, Mg(OH)₂)、石英 (α -quartz, SiO₂)、方解石 (calcite, CaCO₃) および磁鉄鉱 (magnetite, Fe₃O₄) が微量認められたが、いずれも 1% 以下と見積られ、Jawe 111 のクリソタイル含有率は 95% 以上である。X 線粉末回折線の d 値 (Å) を回折角 (2 θ) とともに表 2 に示した。

(4) 化学組成

表 3 に Jawe 111 の化学分析値を、他の産地の

表 1 X 線回折分析測定条件

X 線 源	銅対陰極管球, Cu-K α 線
管 電 壓・電 流	30 kV・40 mA
モノクロメーター	グラファイトまたは不使用
発 散 ス リ ッ ト	1°
散 亂 ス リ ッ ト	1°
受 光 ス リ ッ ト	0.3 mm
ゴニオメーター半径	185 mm
走 査 速 度	2°/min

表 2 Jawe 111 の X 線粉末回折線データ (Cu-K α)

2 θ (°)	d (Å)	I/I_0	Impurity
12.1	7.31	100	
18.6	4.77	6	Brucite
19.8	4.48	10	
20.9	4.25	3	
24.4	3.65	85	
29.4	3.04	5	
34.6	2.592	10	
35.6	2.522	10	
36.7	2.449	10	
43.2	2.099	3	
50.0	1.824	2	
52.4	1.746	3	
60.2	1.537	12	
63.7	1.459	3	

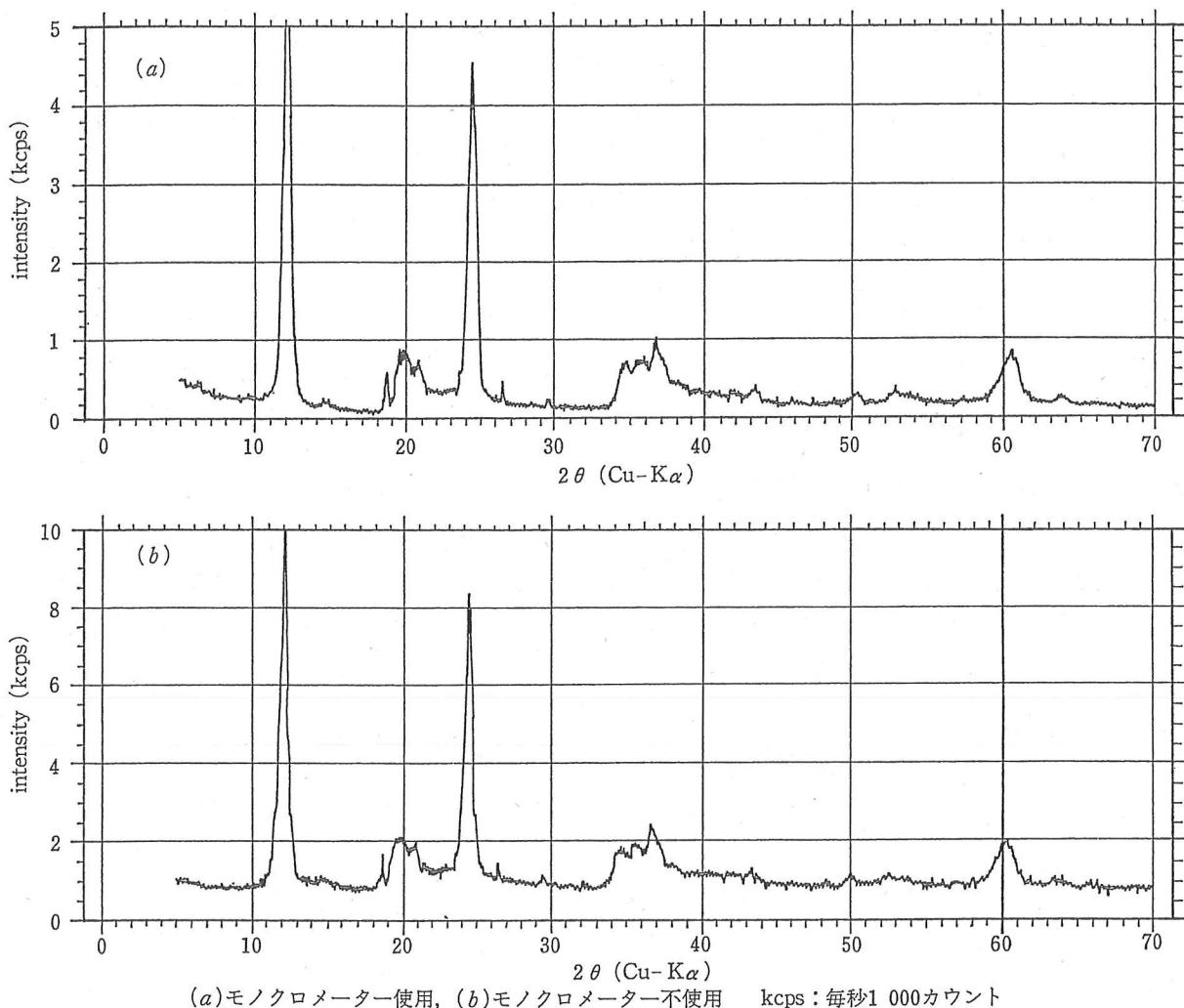


図 1 JAWE 111 の X 線回折図形

クリソタイルと比較して示してある。Si, Mg を主陽イオンとし、微量の Al, Fe, Ca などが存在しているごく標準的なクリソタイルの化学組成を有している。また、クリソタイルの理想化学構造式は、 $Mg_3Si_2O_5(OH)_4$ とされているが、化学構造式の面からもほぼ標準的なクリソタイルであることを示している。しかし、より詳細にみると、本クリソタイルの分析値および同じ産地のクリソタイルの分析値の文献値は、ともに四面体位置の Si の若干の欠損と八面体陽イオンの若干の過剰量があることを示し、カナダ産の長纖維クリソタイルの分析値 (表 3, Cássiar) は、若干の陽イオン置換はあるもののほぼ理想化学構造式に近い組成を示している。この両者の化学組成の若干の差異がクリソタイル纖維の結晶成長の差異と関連がある

のか鉱物学者間で議論されている。

なお、化学分析方法は付録に簡単に示してある。

(5) 結 晶 度

結晶の結晶度 (crystallinity) は、一般に X 線粉末回折図形のピークプロファイルを解析して表わされることが多い。すなわち、結晶の単位胞 (unit cell) が広範囲にわたって整然と連続している場合、結晶度はよく、X 線回折図形のピークプロファイルは鋭い回折線として検出される。もし結晶が成長する過程で種々の環境条件の変化などによって結晶を構成している単位胞の連続性が妨害されたり、あるいは粉碎される過程で単位胞の連続性がみだされたりすると、いわゆる結晶度の悪い結晶となり、X 線回折線もブロードになる。

表 3 クリソタイルの化学組成

	JAWE-111	New Idria	Cassiar	UICC-A	UICC-B
SiO ₂	39.00	39.77	40.75	39.89	38.10
TiO ₂	tr			0.02	tr
Al ₂ O ₃	0.53	0.66	3.37	0.76	0.40
Fe ₂ O ₃	2.75	2.02	0.44	1.97	2.39
FeO	0.98	ND	0.28	0.49	1.14
MnO	0.08	0.07	0.03	0.06	0.06
MgO	41.68	40.62	41.28	42.60	43.26
CaO	0.45	0.32	0.35	0.33	0.17
Na ₂ O	0.05	tr	0.07	tr	0.02
K ₂ O	tr	tr	0.04	tr	0.02
H ₂ O ⁺	13.43	12.69	12.86	12.58	13.67
H ₂ O ⁻	0.44	1.54	0.78	0.87	0.66
CO ₂		0.78	0.44		
Total (%)	99.78 ^{a)}	98.48	100.69	99.85 ^{b)}	100.04 ^{c)}
Si	1.88	1.93	1.90	1.89	1.84
Al	0.03	0.04	0.10	0.04	0.02
Σ tetra	1.91	1.97	2.00	1.93	1.86
Al	—	—	0.09	—	—
Fe ³⁺	0.10	0.07	0.02	0.07	0.09
Fe ²⁺	0.04	—	0.01	0.02	0.05
Mg	2.99	2.94	2.87	3.01	3.11
Σ octa	3.03	3.01	2.99	3.10	3.25
(O ₂ OH)	14	14	14	14	14

ND: 検出されず。 tr: 痕跡 (<0.01%)。 空欄は未分析。

a) NiO: 0.21%, Cr₂O₃: 0.18%含む。 b) NiO: 0.16%, Cr₂O₃: 0.12%含む。c) NiO: 0.10%, Cr₂O₃: 0.05%含む。

JAWE 111 の結晶度を調べ、他の試料と比較した。結晶度測定条件は表 4 に、また、図 2 には(004)回折線のピークプロファイルを示してある。図中の角度は各クリソタイル試料のピークの半価幅を表し、その値が小さいほど結晶度がよいことを意味している。いずれもほぼ類似の結晶度と考えられる。

実際には、このピークプロファイルには試料の結晶度に由来する因子とともに回折計に由来する機械的因素が混在している。回折線の幅がゼロになるとされる完全結晶に近似できるようなある基準物質を同様に測定して得られた回折線の幅は機械的因素量と考え、被検試料の回折線の半価幅から差引いて残りの半価幅から試料自身の「結晶子サイズ」(domain)を定量的に表現する方法が、Sherrer によって提案されている(付録参照)。

このようにして JAWE 111 の結晶子サイズを求

表 4 結晶度測定条件

X 線 源	銅対陰極管球, Cu-K α 線
管 電 壓・電 流	40 kV・30 mA
モノクロメーター	グラファイト
ス リ ッ ト 系	
発 散 ス リ ッ ト	0.5°
散 亂 ス リ ッ ト	0.5°
受 光 ス リ ッ ト	0.15 mm
ゴニオメーター半径	185 mm
走 査 速 度	ステップスキャニング: 0.002° きざみ
基 準 物 質	NBS 672 ("Mica")

表 5 結晶サイズ

hkl	結晶子サイズ (ε)
002	177.5 Å
004	179.5 Å
060	128.1 Å

めた結果(表 5)、C 軸方向に約 180 Å(単位胞として約 12~13 個分)、b 軸方向に約 128 Å(同 14 個程度)の値が得られた。

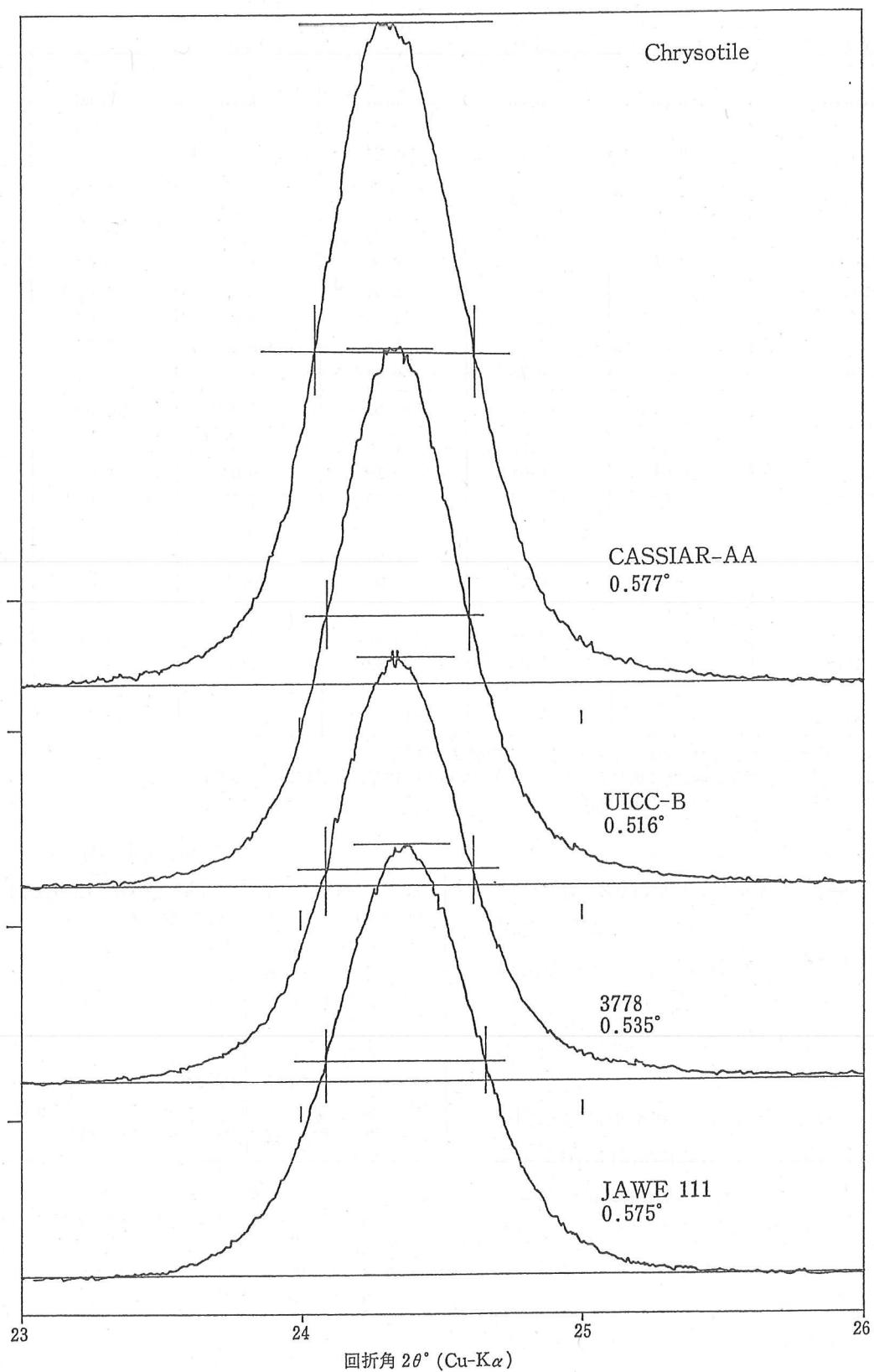


図 2 結晶度の他の試料との比較

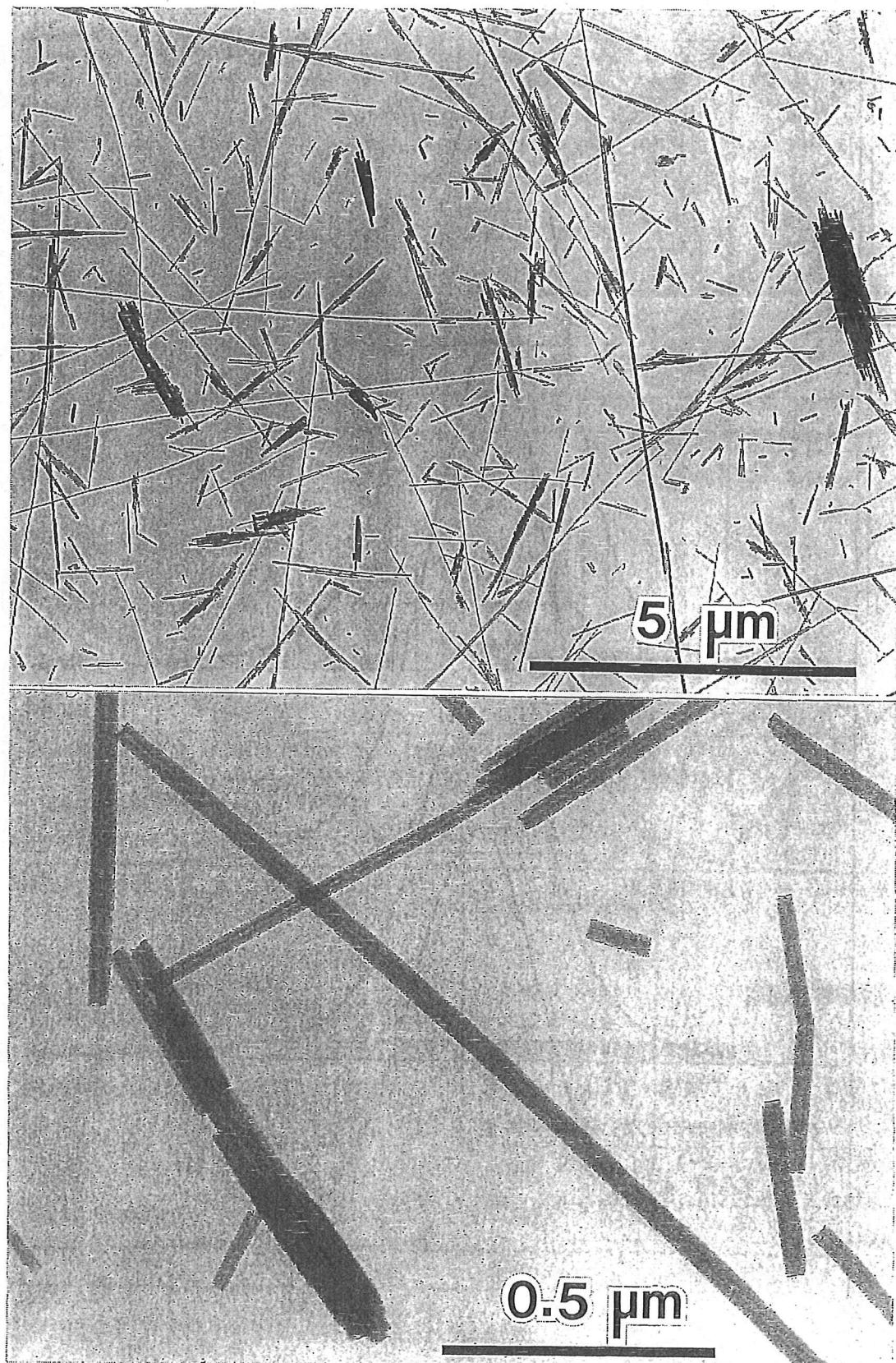


図 3 透過型電子顕微鏡 (TEM) によるクリソタイル繊維の形状

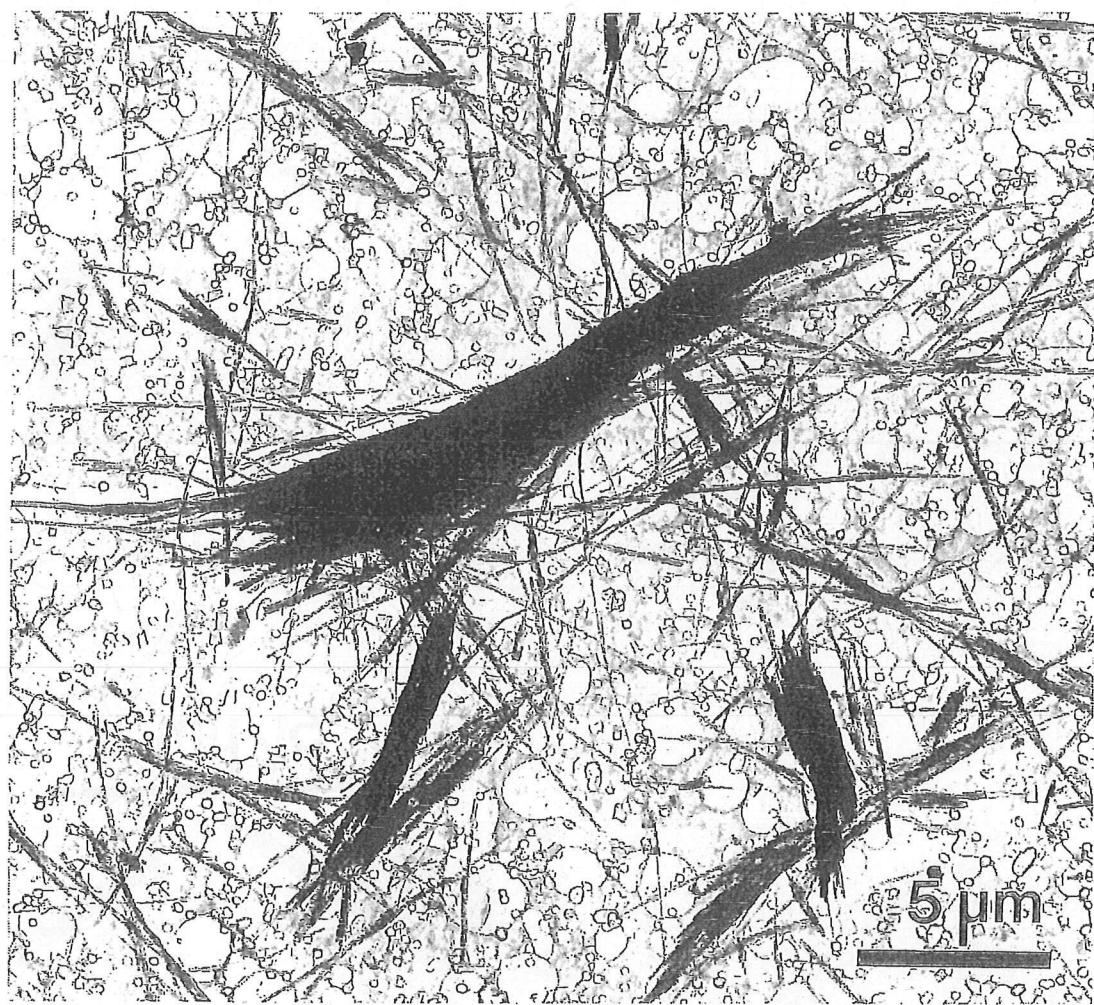


図 4 分散処理が劣る場合のクリソタイル纖維の形状 (TEM)

(6) 屈折率の測定

屈折率既知のいくつかの浸液に試料を分散浸漬させ、NaD 線を光源として室温 (20°C) で焦点移動にともなうベッケ線の動きと消失を目印に測定した。その結果、 $\alpha=1.547\sim1.551$ 、 $\gamma=1.556\sim1.560$ で、一般のクリソタイルの屈折率とよく一致した値が得られた。

屈折率の詳しい測定方法については付録を参照されたい。

(7) 透過型電子顕微鏡観察

透過型電子顕微鏡 (TEM) で観察した JAWE

111 クリソタイル纖維を図 3 に示してある。試料は蒸留水中に超音波分散させ、TEM 用グリッド上の親水化処理を施したカーボン補強コロジオン膜上に 1 滴滴下し風乾してそのまま観察試料とした。図 3 は極めてよく分散したクリソタイルの単纖維状態を表している。JAWE 111 のクリソタイルは大部分が長さ $5 \mu\text{m}$ 以下で太さ $0.02\sim0.03 \mu\text{m}$ の微小纖維であることが分かる。

分散処理がやや劣る場合は、図 4 のように微小纖維の集合状態も多く見られる。

参考文献

- 1) Mumppon, F.A. and Thompson, C.S. : *Clays & Clay Miner.* 23, 131~143, 1975

1.2 アモサイト標準試料 JAWE 211

(1) アモサイト標準試料 JAWE 211

試料名 JAWE 211 のアモサイト標準試料は、クリソタイル標準試料 JAWE 111 と同様に X 線回折分析用標準試料として調整されたが、再発じんさせてメンプランフィルターに捕集すれば、光頭用のプレパラートの作製にも使用できる。X 線分析の測定対象は JAWE 111 の場合と同様であるので 7 および 8 頁を参照されたい。

(2) 産地と試料調整法

JAWE 211 に用いたアモサイトの産地は、南アフリカ共和国 Transvaal 州である。

鉱山の粉碎工場で粉碎・解綿し袋詰めされて輸入されたアモサイトを、ウィレーミルで 0.5 mm 目開きのメッシュ・スクリーンを使って粗粉碎し、さらに再び 0.1 mm メッシュ・スクリーンに代えて微粉碎したものである。

(3) X 線粉末回折分析データ

通常の Al 製試料板につめて分析した X 線粉末回折図形を図 1 に示した。図 1 (a) はグラファイトモノクロメータを使用、(b) はモノクロメータを使用せずに Ni フィルターのみで分析したものである。モノクロメータを使用しないとアモサイトに含まれている鉄の影響で著しいバックグランドの上昇

表 1 JAWE 211 の X 線粉末回折線データ (Cu-K α)

2θ (°)	d (Å)	I/I_0	2θ (°)	d (Å)	I/I_0
7.5	11.8	3	35.7	2.515	2
8.7	10.2	3	36.5	2.462	1
9.6	9.2	10	37.9	2.374	3
10.6	8.35	85	38.5	2.338	3
17.3	5.13	2	39.3	2.292	2
18.9	4.70	21	40.5	2.227	1
19.3	4.60	11	41.0	2.201	3
20.9	4.25	2	43.4	2.085	2
21.3	4.17	20	44.0	2.058	2
21.9	4.06	1	45.2	2.006	1
23.0	3.87	1	45.6	1.989	1
25.7	3.466	1	48.9	1.863	4
26.1	3.414	1	49.7	1.834	1
26.6	3.351	9	50.1	1.821	1
27.3	3.273	45	51.0	1.791	2
29.1	3.074	100	55.1	1.67	4
29.7	3.008	1	56.1	1.639	10
30.6	2.921	1	59.3	1.560	10
32.2	2.777	19	60.7	1.527	10
34.0	2.640	4	63.3	1.469	4
35.0	2.560	3	66.4	1.408	3

があり、弱い回折線は見分けにくくなっている。測定条件は JAWE 111 と同様である(8 頁, 表 1)。X 線粉末回折分析では、ほとんど不純物は認められず、含有率は 99% (非晶質分は除く) 程度と見込まれる。X 線粉末回折図形の $2\theta - d(\text{\AA}) - I/I_0$ の値を表 1 に示してある。

(4) 化学組成

表 2 に JAWE 211 の化学分析値を、他の産地のアモサイトとともに示してある。JAWE 211 の化学組成は文献にあるアモサイトの化学組成とよく似た極めて一般的なアモサイトであるといえる。すなわち、第 1 鉄 (FeO) を約 35% と多量に含有し、逆に第 2 鉄 (Fe_2O_3) は少ない。また JAWE

211 は、やや高い MnO 含有率を示すのが特徴となっている。

表 3 の中では、Penge 鉱山産アモサイトを除く 3 つのアモサイトはいずれもよく似た化学組成を示している。

(5) 結晶度

JAWE 211 の結晶度を X 線粉末回折線のピーク幅から調べた。測定条件は、JAWE 111 の表 4 と同様で、電圧・電流: 40 kV・20 mA, 対陰極: 銅 ($\text{Cu-K}\alpha$), スリット系: $1/2^\circ - 1/2^\circ - 0.15 \text{ mm}$ で行い、基準物質には NBS 675 の “Mica” を使用した。JAWE 211 の測定の際には、配向効果の影響を小さくするために約 1/2 量 (体積比) のシリカゲル

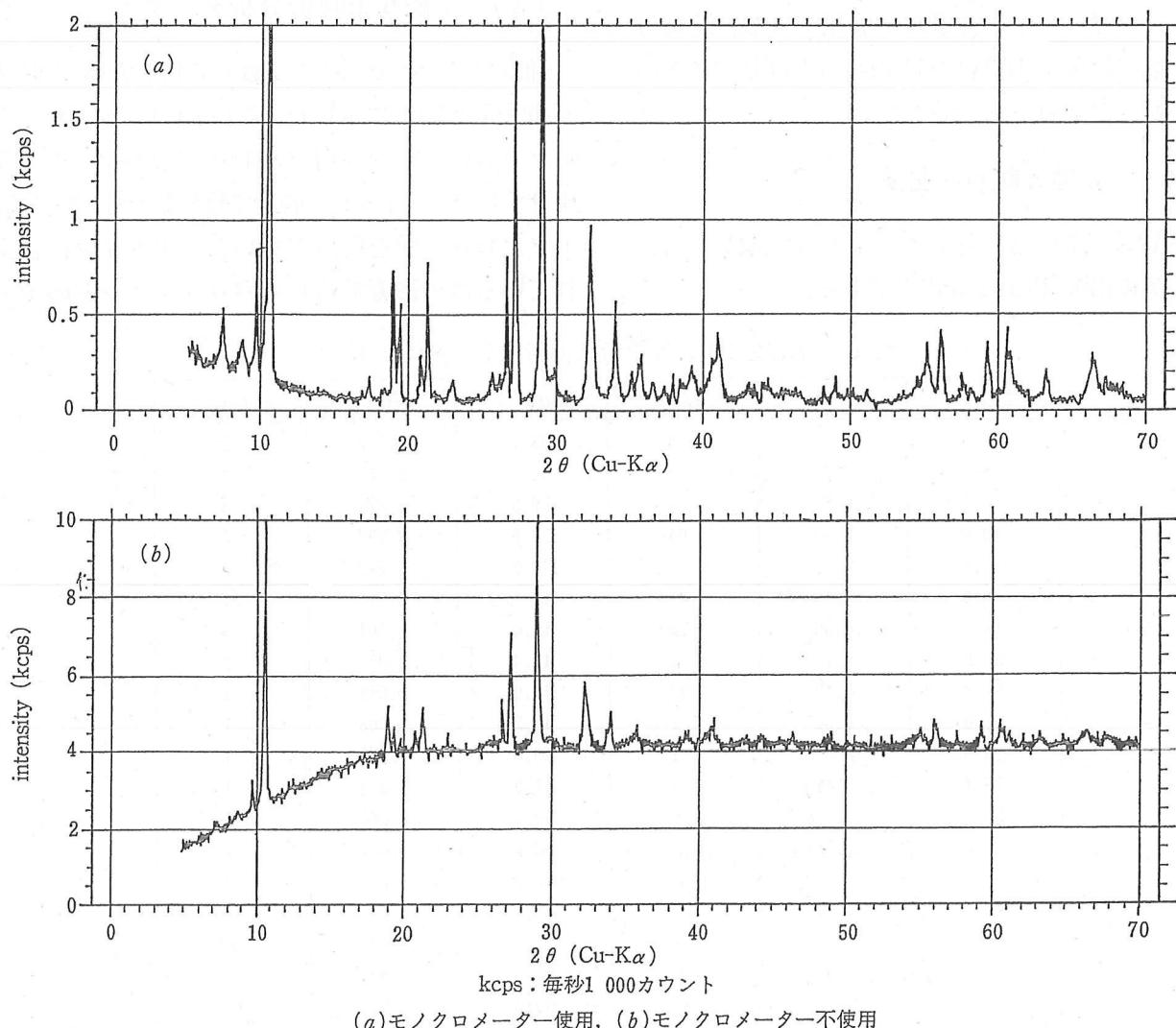


図 1 JAWE 211 の X 線回折図形

表 2 アモサイトの化学分析値

	JAWE211	Penge*	Weltevreden*	UICC
SiO ₂	50.70	49.70	51.30	50.53
TiO ₂	0.04			
Al ₂ O ₃	0.59	0.40	—	0.55
Fe ₂ O ₃	1.84	0.03	0.90	1.90
FeO	34.93	39.70	35.50	35.34
MnO	2.45	0.22	1.76	1.82
MgO	5.79	6.44	6.90	6.43
CaO	0.39	1.04	0.95	0.51
Na ₂ O	0.03	0.09	0.05	0.02
K ₂ O	0.38	0.63	0.51	0.27
H ₂ O(+)	2.30	1.83	2.31	2.32
H ₂ O(-)	0.36	0.09	0.05	0.20
Total(%)	99.82(%)	100.17(%)	100.23(%)	99.93(%)

* 南ア Transvaal州 (データは文献 1)

表 3 アモサイトの化学構造式

	JAWE211	Penge*	Weltevreden*	UICC
Si	8.03	7.90	8.06	7.98
Al	—	0.08	—	0.02
Σtetra	8.03	7.98	8.06	8.00
Al	0.11	—	—	0.09
Fe ³⁺	0.22	0.00	0.11	0.23
Fe ²⁺	4.63	5.28	4.66	4.67
Mn	0.33	0.03	0.23	0.24
Mg	1.37	1.53	1.62	1.51
Ca	0.07	0.18	0.16	0.09
Na	0.01	0.03	0.02	0.01
K	0.08	0.13	0.10	0.05
Σocta	6.82	7.18	6.90	6.89

* 南ア Transvall州

表 4 結晶子サイズ

Mica(NBS675)			JAWE211			
kk1	2θ	βi	kk1	2θ	βi	ε
002	17.950	0.104	200	8.752	0.164	736 Å
003	26.959	0.108	020	9.622	0.165	731 Å
007	65.558	0.150	110	10.615	0.168	732 Å
060	60.558	0.279	400	18.982	0.163	700 Å

を混合した。

表 4 に “Mica(NBS 675)” と JAWE 211 の各測定回折線の指数, 回折角, 半価幅 (β_i) を示した。Mica と JAWE 211 の対応する回折線の角度の差は補間法により同一角度での β_i を求め, JAWE 211 の β_i から Mica の β_i を差引いた後, Scherrer の式から結晶子サイズ (ϵ) を算出した。その結果,

表 4 に示すように a, b 軸方向に 700 Å 程度の結晶子サイズを持っていると推定される。

図 2 に (110) と (310) のラインプロファイルを UICC のアモサイトと比較して示した。JAWE 211 の β_i は UICC の β_i よりやや鋭く, UICC よりも結晶度がややよいことを示している。

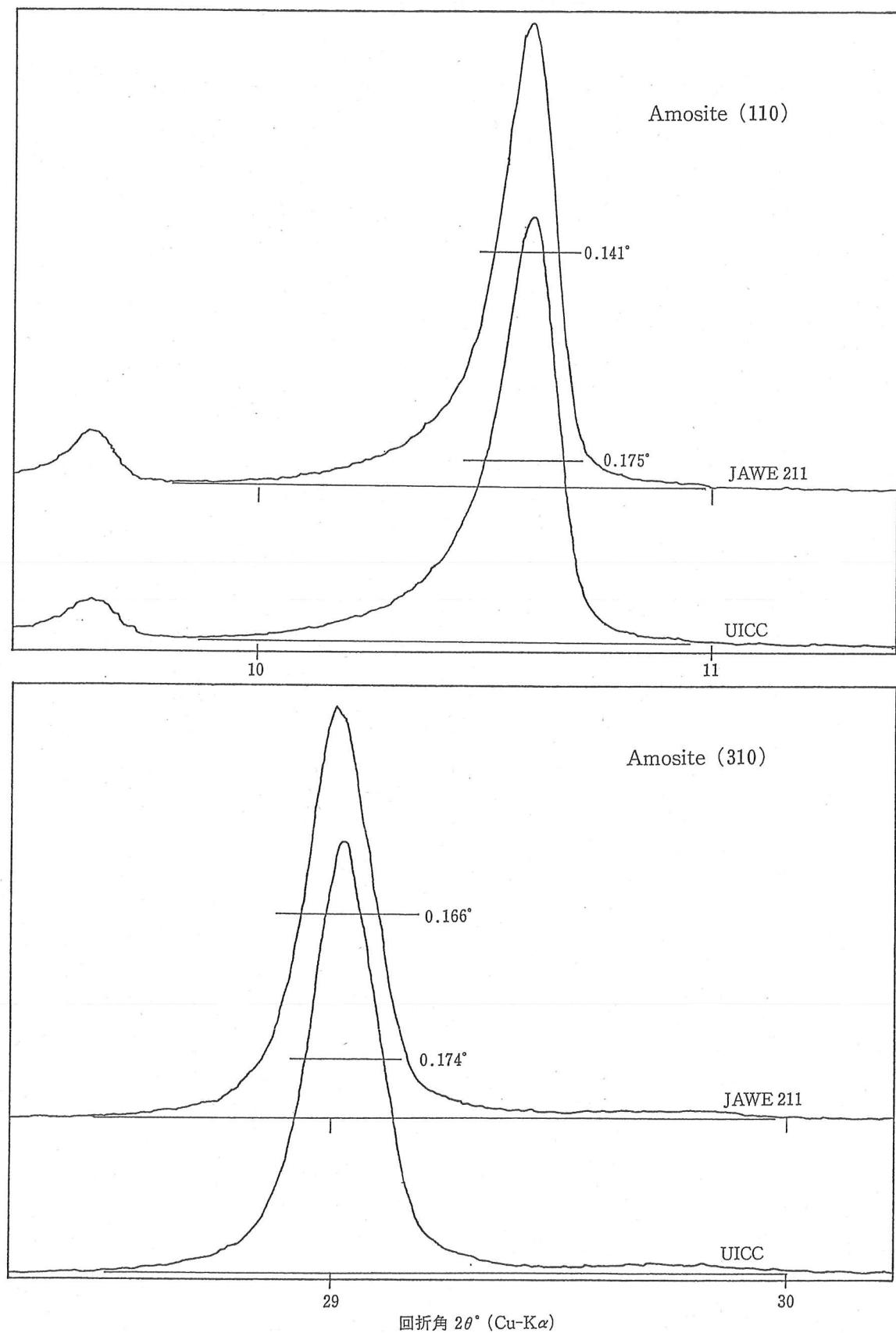


図 2 結晶度の他の試料との比較

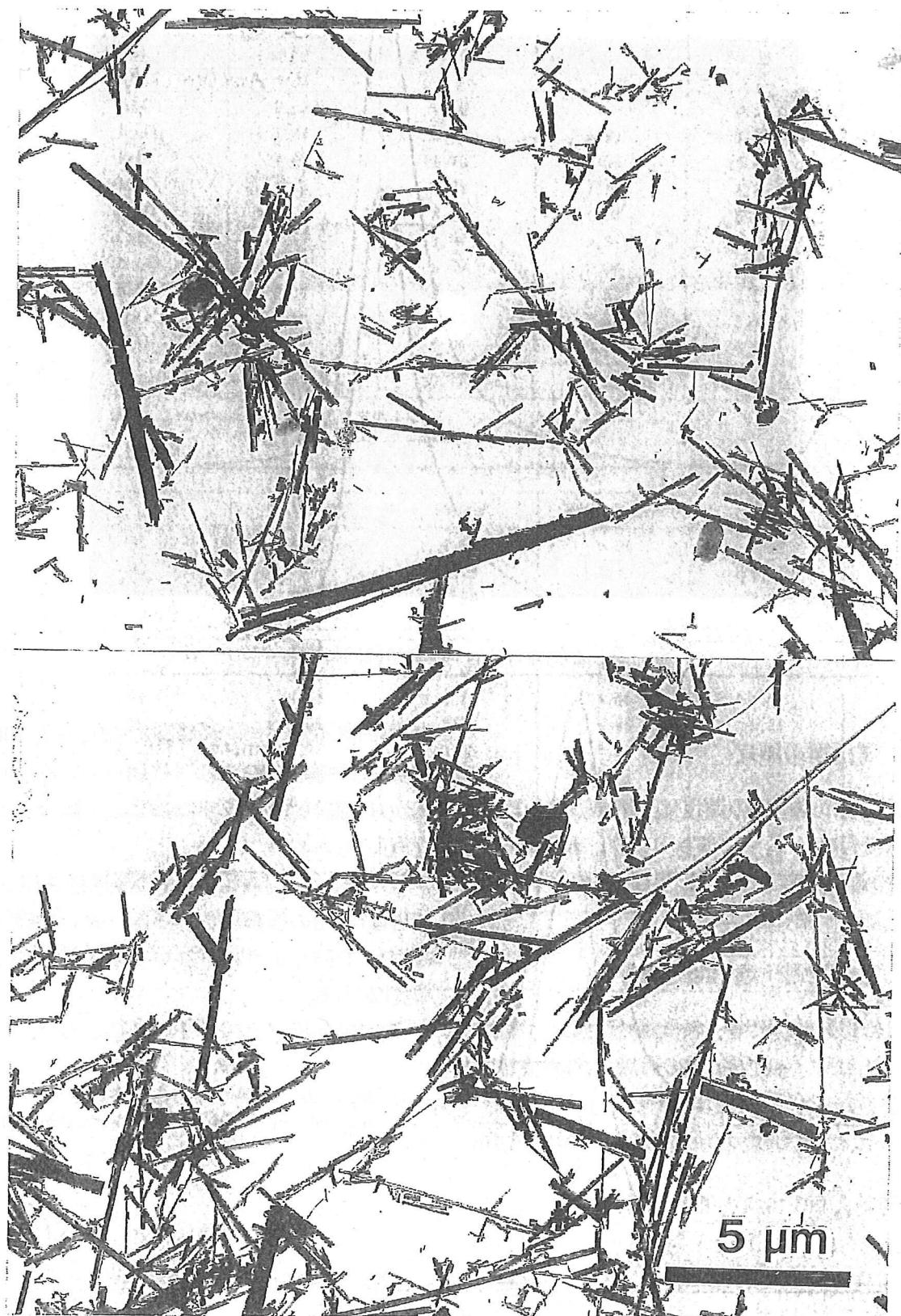


図 3 JAW-E 211 の透過型電子顕微鏡写真

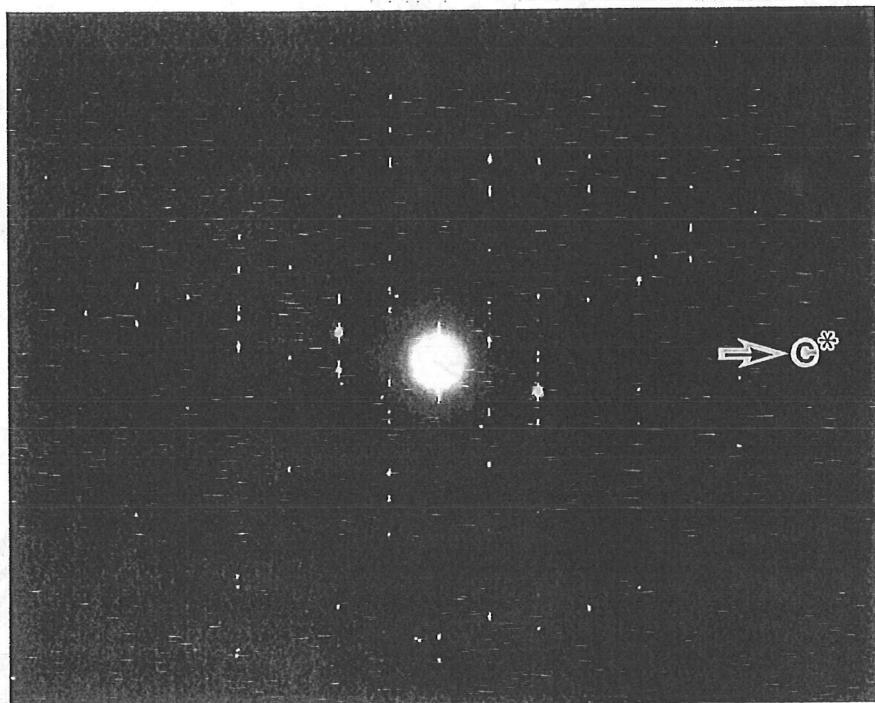


図 4 JAWE 211 の電子線回折図形

(6) 屈折率の測定

JAWE 211 の屈折率の測定は, JAWE 111 と同様の方法で行い, $n_a=1.671\sim1.674$, $n_r=1.689\sim1.692$ の値が得られた。この値は, アモサイトの文献値とよく一致している。

(7) 透過型電子顕微鏡観察

JAWE 211 を透過型電子顕微鏡で観察し, 繊維状粒子の大きさ, 非晶質物質の有無, 共存鉱物の検索などを行った(図3)。纖維長は $1\sim10\ \mu\text{m}$, 幅は $0.1\sim0.2\ \mu\text{m}$ 程度のものが多い。しかし, $1\ \mu\text{m}$

以下の微小粒子片も多数認められ, 一方 $100\ \mu\text{m}$ 以上の長纖維も粉碎されずに残っている。 $100\ \mu\text{m}$ 以上の長纖維粒子は, 水ヒによって除去されてしまうものもある。

したがって, JAWE 211 の懸濁液を作つて X 線回折分析用の検量線を作る際, 長い纖維状粒子の沈でんを防ぐようにしないと誤差が大きくなる可能性がある。

電子線回折パターンを図4に示した。

参考文献

- 1) Michaels, L. and Chissick, S.S. (eds) (1979) Asbestos, vol.1, p.80~81, John Wiley & Sons, Chichester.



1.3 クロシドライト標準試料 JAWE 311

(1) クロシドライト標準試料 JAWE 311

試料名 JAWE 311 のクロシドライト標準試料もクソソタイル標準試料 JAWE 111 およびアモサイト標準試料 JAWE 211 と同様に X 線回折分析用標準試料として調整されたものである。分析の対象も JAWE 111, 211 と同様である。

(2) 産地と試料調整法

JAWE 311 に用いたクロシドライトの産地は、南アフリカ共和国 Cape 州である。

試料は JAWE 211 と同様の方法で調整した。すなわち、鉱山で解綿・袋づめされて輸入されたクロシドライトの纖維（超長纖維が多い）をまず 0.5 mm 目開きのメッシュ・スクリーンをつけたウイレーミルで粗粉碎し、再び 0.1 mm 目開きメッシュ・スクリーンを用い微粉碎した。

(3) X 線粉末回折分析データ

JAWE 311 を Al 製試料板につめて通常の X 線粉末回折計で得た粉末回折图形を図 1 に示した。

図 1(a) は、グラファイトモノクロメーターを使用

表 1 JAWE 311 の X 線粉末回折線データ (Cu-K α)

2θ (°)	d (Å)	I/I_0	2θ (°)	d (Å)	I/I_0
9.3	9.5	1	42.5	2.217	1
10.6	8.35	100	43.2	2.094	1
18.2	4.87	1	43.7	2.074	1
18.8	4.72	1	44.7	2.027	4
19.7	4.51	24	45.5	1.993	1
20.9	4.25	2	46.3	1.961	1
23.0	3.88	1	46.9	1.937	1
24.5	3.63	1	48.4	1.881	1
24.9	3.58	1	48.9	1.863	2
26.1	3.414	4	50.2	1.817	1
26.7	3.339	11	50.7	1.800	4
27.4	3.261	11	53.1	1.725	2
28.8	3.211	65	53.9	1.701	1
30.1	2.969	2	54.5	1.684	1
30.9	2.898	3	55.5	1.656	6
32.1	2.788	11	56.4	1.631	3
33.0	2.718	17	57.2	1.612	7
34.5	2.600	6	58.0	1.590	1
35.5	2.529	6	58.6	1.575	2
38.0	2.368	2	61.7	1.503	6
38.9	2.315	6	64.0	1.455	3
39.9	2.259	1	65.7	1.421	6
41.5	2.176	6	68.1	1.379	2

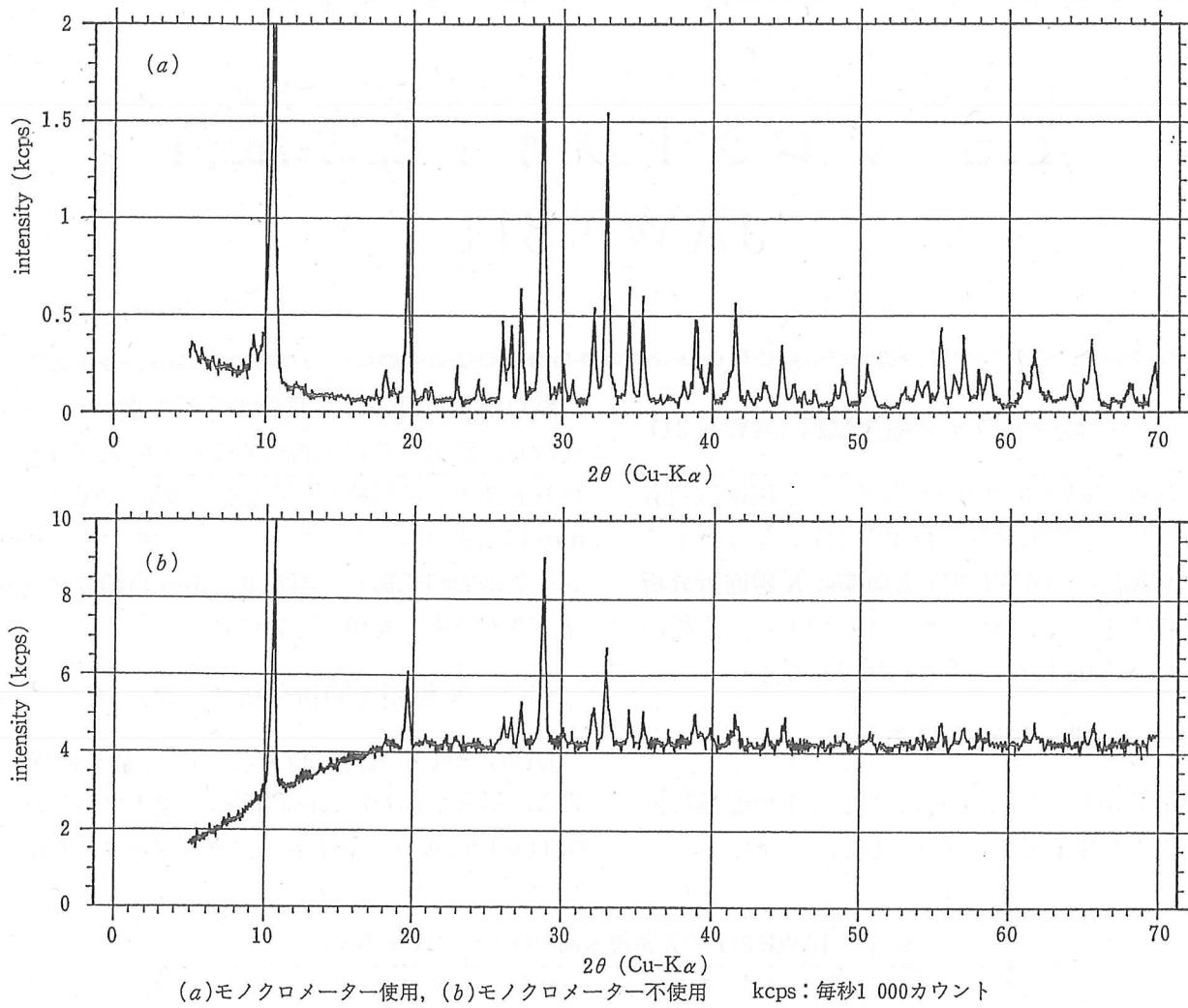


図1 JAWE 311 の X 線回折図形

して、図1(b)は、モノクロメーターを使用せずに Ni フィルターのみで測定したものである。モノクロメーターを使用しないと試料中に成分として含まれている鉄のため、Cu-K α 線では白色 X 線によるバックグラウンドの上昇が著しく、特に弱い回折線は見にくくなる。測定条件は JAWE 211 の測定条件と同様である。共存鉱物などの不純物はほとんど認められず、試料中のクロシドライト含有率は 99% (非晶質分は除く) 程度と推定される。X 線粉末回折図形の $2\theta - d$ (Å) - I/I_0 の値を表1に示した。

(4) 化 学 組 成

表2に JAWE 311 の化学分析値を、他の産地のクロシドライトとともに示した。クロシドライト

の化学組成の特徴は Si と Fe の他に Na を比較的多く含んでいることである。アモサイトとクロシドライトとは Na と Mg の量によって区別することができる。すなわち JAWE 311 は、5.31% の Na₂O と 3.23% の MgO を含有しているが、アモサイトの項の表2に示されているように、JAWE 211 ではそれぞれ 0.03% と 5.79% である。また、アモサイトの鉄はほとんどが第1鉄(FeO)であるのに對しクロシドライトの鉄は、第1鉄と第2鉄の比がほぼ 1:1 になっており、アモサイトに比べて第2鉄が多い。また、MnO は JAWE 211 に比べ少ない。

JAWE 311 は、Kuruman 鉱山のクロシドライトとよく似た化学組成を持っている。

化学構造式を、表3に示してある。

表 2 クロシドライトの化学分析値

	JAWE311	Kuruman*	Pomfret*	UICC
SiO ₂	50.92	50.70	52.00	48.84
TiO ₂	<0.01			0.02
Al ₂ O ₃	0.08	0.70	—	0.06
Fe ₂ O ₃	17.86	18.30	16.05	19.07
FeO	18.59	17.50	17.65	19.95
MnO	0.09	0.06	tr.	0.11
MgO	3.23	3.05	4.28	2.32
CaO	0.94	1.30	1.20	1.08
Na ₂ O	5.31	5.30	6.21	5.58
K ₂ O	0.08	tr.	0.06	0.06
H ₂ O(+)	2.35	2.53	2.43	2.33
H ₂ O(-)	0.25	0.29	0.26	0.34
Total(%)	99.71	99.73	100.14	99.76

* 南ア Cape州 (データは文献 1)

表 3 クロシドライトの化学構造式

	JAWE 311	Kuruman*	Pomfret*	UICC
Si	7.87	7.82	7.94	7.68
Al	0.01	0.17	—	0.01
Σ tetra	7.88	7.99	7.94	7.69
Fe ³⁺	2.08	2.13	1.85	2.26
Fe ²⁺	2.40	2.26	2.25	2.63
Mn	0.01	0.01	—	0.02
Mg	0.74	0.70	0.97	0.54
Σ octa	5.23	5.10	5.07	5.45
Ca	0.16	0.22	0.20	0.18
Na	1.59	1.59	1.84	1.70
K	0.02	—	0.01	0.01
Σ 2M4	1.77	1.81	2.05	1.89

* 南ア Cape州

表 4 結晶子サイズ

Mica(NBS652)			JAWE311			
kkI	2θ	βi(2θ°)	kkI	2θ	βi(2θ°)	ε(Å)
002	17.95	0.104	020	9.54	0.161	751
003	26.96	0.108	040	19.71	0.163	701
007	65.56	0.150	110	10.55	0.250	269
060	60.56	0.279	310	28.73	0.228	313

(5) 結晶度

JAWE 311 の結晶度を X 線粉末回折線のピークプロファイルを解析して調べた。測定条件は、JAWE 111 の場合と同様で(10 頁の表 4 および 40 頁の付

録を参照) 機械的因子を補正するための基準物質には “Mica” (NBS 675) を使用した。

また、JAWE 211 の測定のときと同様 JAWE 311 の纖維結晶の配向効果の影響を小さくするために、シリカゲルを混合した。表 4 に JAWE 311 の各測

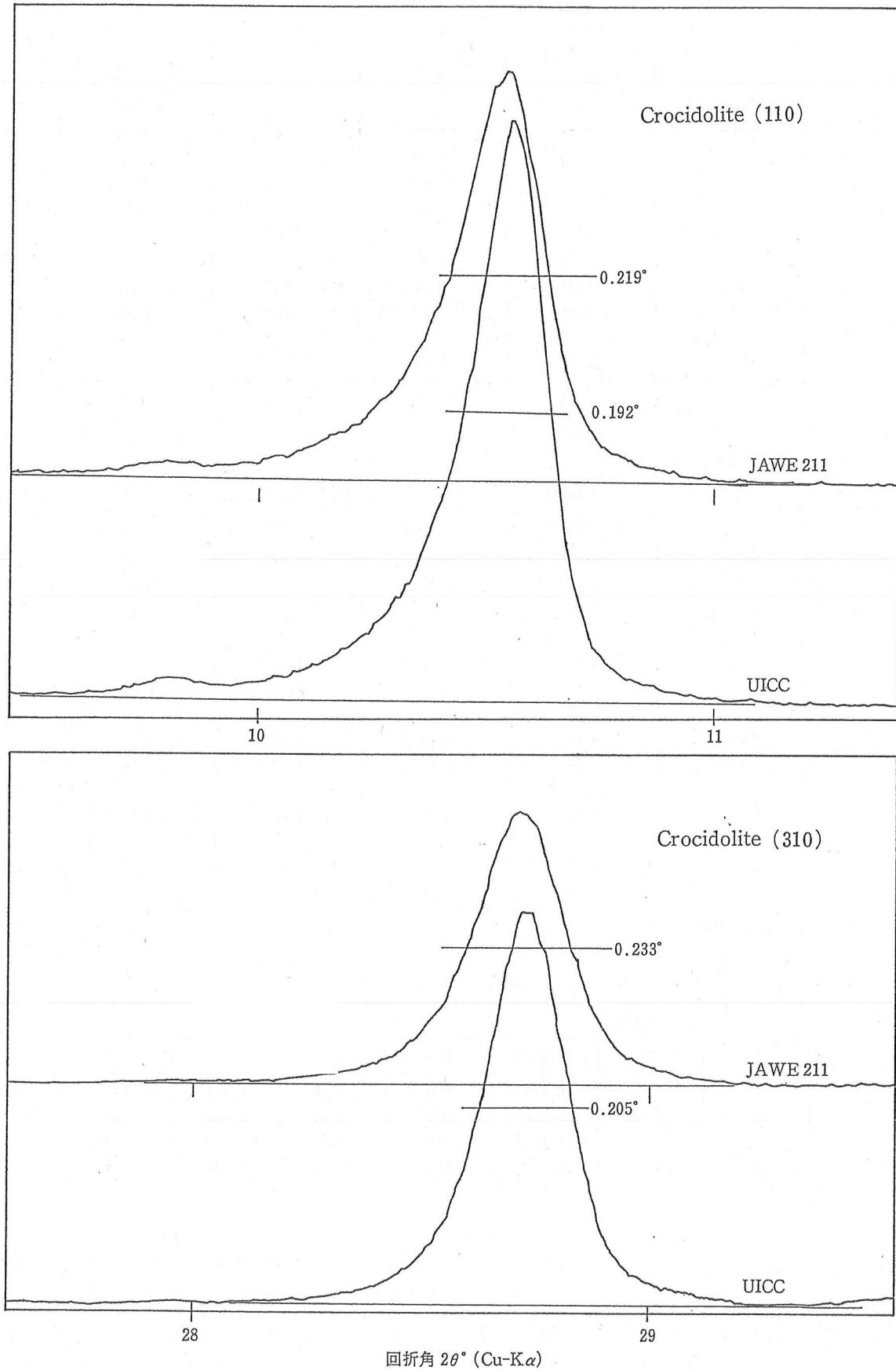


図 2 結晶度の他の試料との比較

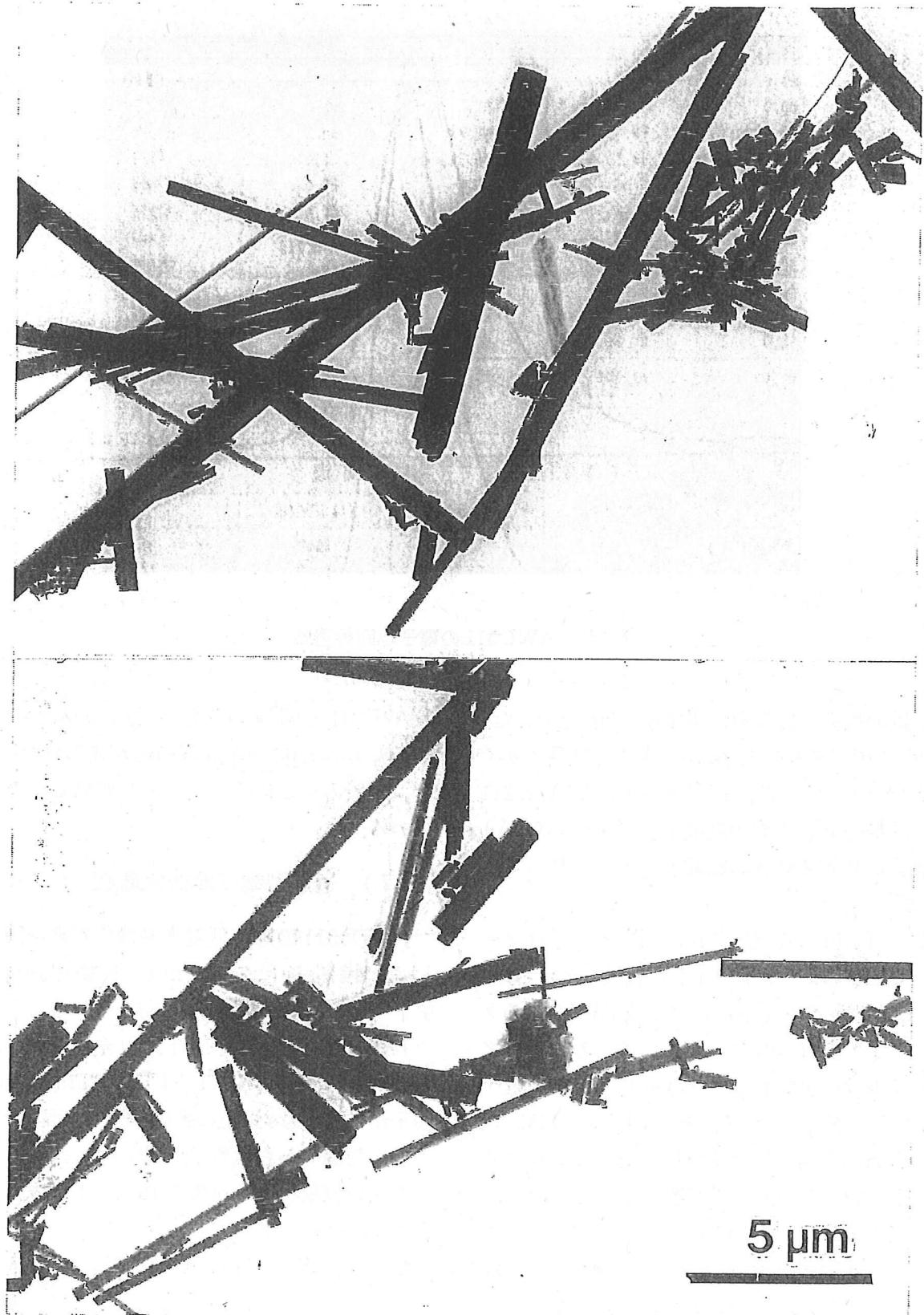


図 3 JAWE 311 の透過型電子顕微鏡写真

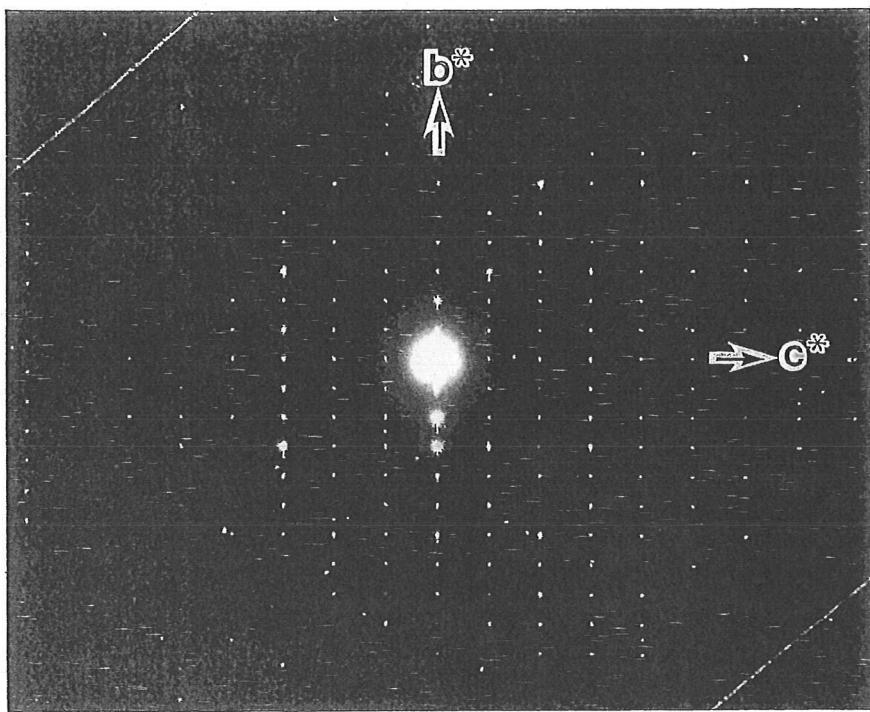


図 4 JAWE 311 の電子線回折図形

定回折線の指標、回折角、半価幅 (β_i) を示した。“Mica”的 β_i を差引いた β_i から求めた結晶子サイズ (ε) を表 4 に示した。JAWE 311 は JAWE 211 とほぼ同様の b 軸方向の結晶子サイズ(約 700 Å) と a 軸方向に約 290 Å の結晶子サイズを持っていく。

図 2 に (110) および (310) のラインプロファイルを UICC のクロシドライトと比較して示した。

UICC クロシドライトに比べて JAWE 311 のクロシドライトの (110) および (310) のピークプロファイルはいずれもややブロードで、結晶度が少し低いことを示している。その原因としては、上記の a 軸方向の結晶子サイズが b 軸方向に比べて著しく小さいことが大きく影響していると思われる。ちなみに、JAWE 211 のアモサイトは、 a 、 b 軸ともに 700 Å 程度の結晶子サイズを持っており、UICC アモサイトより結晶度はややよかつた。

(6) 屈折率の測定

JAWE 311 の屈折率の測定も、JAWE 211、

JAWE 211 と同様の方法で行い、 $n_a = 1.676 \sim 1.678$ 、 $n_b = 1.687 \sim 1.690$ の値が得られた。この値は、一般のクロシドライトの文献値とよく一致している。

(7) 透過型電子顕微鏡観察

JAWE 311 の透過型電子顕微鏡写真を図 3 に示した。纖維長は 2~3 μm から数 10 μm 、幅は 0.1~1 μm 位まで幅広く分布している。

JAWE 211 のアモサイトより全般に長さ、幅とともに大きい。JAWE 211 と同様、1 μm 以下の微小粒子から 100 μm 以上の長纖維までが混在しているので、懸濁液から検量線を作る際には、沈殿により長い纖維状粒子が失われないように注意深く分取する必要がある。

図 4 は JAWE 311 の電子線回折パターンである。

参考文献

- Michaels, L. and Chissick, S.S. (eds) (1979) Asbestos, vol.1, p.80~81, John Wiley & Sons, Chichester.